

平成23年度問題別研究会「牛における人工授精の現状と今後の研究展開」

－開催要領－

1. 開催趣旨

近年、欧米先進国やわが国では牛の人工受精における低受胎が問題となっているが、有性生殖動物である牛の受胎率向上のためには、雌雄両側からのアプローチが必要である。そこで、牛の人工授精に関する現状を再確認すると同時に、低受胎の発生要因を取り除くため、今後、取り組んでいくべき雌雄の研究展開の方向性を議論する。併せて、これまでの問題別研究会等において問題提起されてきた家畜繁殖領域における生命に関する研究の高度化に伴う研究内容と市民感覚との乖離の克服を目指した議論も行う。これらによって、牛の受胎率低下の研究に取り組む研究者にとって有用な情報を提供する。

2. 開催日時 10月24日(月) 13:00～17:15
10月25日(火) 9:00～11:40

3. 開催場所 日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

4. 主催 畜産草地研究所

5. 内容

第1日目 10月24日(月)

挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:00－13:15

テーマ：【牛人工授精の現状】

(1) 新しい家畜改良増殖目標と牛の受胎率について 13:15－13:30

農林水産省生産局 大藪武史

(2) 牛の人工授精における受胎率の調査

① 大家畜生産技術向上対策事業(牛受胎率改善対策事業)における

受胎率向上に関する取り組み結果の概要 13:30－13:50

酪農学園大学酪農学部 堂地 修

② 生産現場における肉用牛の受胎率に関するアンケート調査結果から 13:50－14:10

畜産草地研究所 下司雅也

(3) 牛の人工授精現場における最新動向

① 人工授精の現場の問題 14:10－14:30

北海道家畜人工授精師協会 石塚隆司

② 性判別精液を用いた牛の人工授精

ア. 牛選別精液の子宮角内深部注入による人工授精(野外事例) 14:30－14:50

リプロ・ETサポート 砂川政広

イ. 人工授精用牛 X,Y 精子の選別 14:50－15:10

信州大学農学部 濱野光市

(休憩)

- (4) 特別講演
動物保護の歴史と動物実験のあり方～欧米と日本の比較から 15:30 – 16:15
東京財団 研究員 棚島次郎
- (5) 総合討論 16:15 – 17:15

第2日目 10月25日(火)

テーマ：【牛人工授精における低受胎に関する今後の研究展開】

- (1) 牛の人工授精時の受胎率を高めるための研究取組
- ①乳牛における歩数計を用いた発情検出 9:00 – 9:20
北海道農業研究センター 坂口 実
- ②精漿成分による牛の子宮機能調節 9:20 – 9:40
酪農学園大学獣医学部 片桐成二
- ③独立行政法人家畜改良センター新冠牧場における排卵同期化・発情同期化を
活用したホルスタイン種の人工授精の成績について 9:40 – 10:00
家畜改良センター新冠牧場 木村嘉孝

(休 憩)

- (2) 実用技術事業を活用した牛の人工授精の受胎率を改善するための研究取組
- ①機能性サプリメントを活用した栄養管理の高度化による高泌乳牛の繁殖性改善技術の開発 10:20 – 10:35
畜産草地研究所 平子 誠
- ②雌を妊娠させやすい雄牛の評価と新規精液凍結法による繁殖性向上技術の開発とその実証 10:35 – 10:50
畜産草地研究所 渡辺伸也
- (3) 総合討論 10:50 – 11:35
- (4) その他 11:35 – 11:40
- 閉 会 11:40

6. 参集範囲 農林水産省生産局、地方農政局、農林水産技術会議事務局、独立行政法人試験研究機関、都道府県試験研究機関・行政機関・指導普及機関、大学、民間企業等

7. 事務局 農研機構 畜産草地研究所 企画管理部 業務推進室 運営チーム
〒305-0901 茨城県つくば市池の台2
Tel：029-838-8593(直通) Fax：029-838-8606